

2025年度

枚方市立第四中学校  
1年2学期シラバス集

学習進路指導部

## 1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

## 2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

## 3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1～3年生)	第1学年～第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切にし、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【1年 2 学期】

	教材の種類・単元名	到達目標
8.9月	古典:月を思う心 物語文:字のない葉書	・歴史的仮名遣いや古文独特のリズムに注意しながら音読し、内容をとらえる。 ・作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えを持つ。
	古典:竹取物語	・場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。
10月	文法:名詞～感動詞 すらすら基本文法	・名詞～感動詞について、それぞれについて正しく理解する。
	○テスト等:単元テスト(1回) 【範囲】「月を思う心」・「竹取物語」・「字のない葉書」・「文法 名詞～感動詞」・「漢字テスト20題」 ○提出物:授業用ノート・漢字ファイル	
11月	詩:それだけでいい	・詩のリズムに注意して音読する。 ・表現に着目しながら読み、詩に現れているものの見方や考え方を捉える。
	説明文:1000円の価値を 考える	『1000円の価値を考える』 ・文章の構成や展開をもとに、筆者の表現の工夫について考える。 ・文章の要旨をとらえ、筆者の考えに対して、自分の考えを確認する。
	文法:動詞・形容詞・ 形容動詞 すらすら基本文法	・動詞・形容詞・形容動詞について、それぞれについて正しく理解する。
	古典:故事成語	・教訓や真理を含んだ言葉から、当時の教えが現代にも役立つことを理解する。 ・由来となったストーリーを知ること、言葉の意味をより深く理解し、面白みを味わう。
	○テスト等:期末テスト 【範囲】「それだけでいい」・「文法:動詞・形容詞・形容動」・「1000円の価値を考える」 「故事成語」・「漢字テスト20題」 ○提出物:授業用ノート・漢字ファイル	
12月	書写:硬筆・毛筆	・基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握する。 ・筆使いや字形を正しく把握しようとしている。
	グループディスカッション	・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて自分の考えをまとめる ・必要に応じて記録・質問しながら、話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめる。

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	30%	定期考査・小テスト・書写など
② 思考・判断・表現	40%	定期考査・小テスト・発表・作文・作品など
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	提出物・ノート・授業態度など

# 社会【1年2学期】

分野	月	単元	到達目標
社会 A	地理	8 世界各地の人々の生活と環境	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現する。
		9	
		10 世界の諸地域 (アジア・ヨーロッパ・アフリカ)	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。
	歴史	11	・単元テスト(4回) ・単元レポート(4回) ・予習プリント(3枚) ・ふりかえりプリント(3枚)
		12 中世の日本	・鎌倉幕府の成立を基に、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。 ・東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東アジアの動きや民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現する。
			・単元テスト(2回) ・単元レポート(2回) ・予習プリント(2枚) ・ふりかえりプリント(2枚)
社会 B	歴史	8 古代までの日本	・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ・律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究する。
		9	
			・単元レポート(1回) ・予習プリント(3枚程度) ・ふりかえりプリント(1枚) ・探求課題
	地理	10 世界の諸地域 (北アメリカ・ヨーロッパ)	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。
		11	
		12	
			・単元レポート(1回) ・予習プリント(2枚程度) ・ふりかえりプリント(2枚) ・探求課題

観点別学習状況の評価対象と内容		
①知識・技能	30%	単元テスト・期末テスト・予習プリント
②思考・判断・表現	40%	単元レポート・期末テスト・ふりかえりプリント・探求課題
③主体的に学習に取り組む態度	30%	単元レポート・期末テスト・提出物(予習プリント・ふりかえりプリント・ノート)・授業に取り組む姿勢

## 数学【1年2学期】

月	単元	項目	到達目標
8 ・ 9 月	3章 方程式	1節 方程式 2節 方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式とその解の意味を理解し、一元一次方程式を解くことができる。</li> <li>・方程式や比例式を問題解決に利用することができる。</li> </ul>
単元テスト2回(方程式の解き方、方程式の利用) 章末テスト 提出物:ふり返しプリント ワーク～P.77 テスト解き直し2回分 章末プリント レポート1枚			
10 月	4章 変化と対応	1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例・反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事象から比例・反比例の関係を見出し、式に表したり、式から性質を理解したりすることができる。</li> <li>・座標平面を使って比例・反比例の関係をグラフに表すことができる。</li> <li>・表・式・グラフから比例・反比例の性質を理解し、活用することができる。</li> </ul>
単元テスト2回(比例, 反比例) 章末テスト 提出物:ふり返しプリント ワーク～P.93 テスト解き直し2回分 章末プリント レポート1枚			
11 月 ・ 12 月	5章 平面図形	1節 直線と図形 2節 移動と作図 3節 円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の移動について理解し、作図ができる。</li> <li>・定規とコンパスだけを使った正しい作図の方法を理解し、基本の作図ができる。</li> <li>・基本的な作図を利用して、いろいろな作図ができる。</li> <li>・円やおうぎ形の性質を理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul>
単元テスト2回(移動, 作図、円とおうぎ形) 章末テスト 提出物:ふり返しプリント ワーク～P.115 テスト解き直し2回分 章末プリント レポート1枚			
観点別学習状況の評価対象と内容			
知識・技能 (35%)		定期テスト・単元テスト等	
思考・判断・表現等 (30%)		定期テスト・単元テスト等	
主体的に学習に取り組む態度 (35%)		提出物・授業プリント、ノート、振り返り、授業態度等	

理科【1年2学期】

		教材の種類・単元名	到達目標
理 科 A	8 月	4章 語る大地	・露頭やボーリング調査による地層の様子を読み取り、過去に起こった事象について予測することができる。
	9 月	エネルギー分野 『光・音・力による現象』 1章 光による現象	9月初旬頃に単元テスト③の予定
			・ものが見えるしくみについて、説明することができる。
			・空間中での光の進み方について、作図を用いて説明することができる。
	・鏡にうつるものの見え方について、作図を用いて説明することができる。		
	10 月		・材質の異なる透明な物体中を進む光の進み方について、作図を用いて説明できる。
		・凸レンズでの物の見え方について、作図を用いて説明できる。	
		10月下旬に単元テスト④の予定	
11 月	3章 力による現象	・物体にはたらくちからについて、矢印を用いて説明することができる。	
		・ばねにはたらく力を、分析することができる。	
		・質量と重さの概念について、理解できる。	
		・物体にはたらく2力のつり合いについて、分析することができる。	
		11 月下旬に単元テスト⑤の予定	
12 月	物質分野 『身のまわりの物質』 1章 いろいろな物質とその性質	・物体を構成する物質について見分ける方法を説明できる	
		・物質の違いについて、重さや体積の違いから見分けることができる。	
		・物質の密度を計算することができる。	
理 科 B	8 月	2章	・生物の共通点や相違点を相互に関係づけて分類できることを理解する。
	9 月	生物のなかま分けのしかた	・生物のなかま分けについて、粘り強く探求しようとしている。
	10 月		・生物を分類するためには、共通点や相違点などを基に、観点と基準を設定することが必要であることを理解する。
			10月下旬頃に単元テストの予定
	11 月	2章 音による現象	・音のしくみと、音の大小、高低のしくみを説明することができる。
	12 月		

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
② 思考・判断・表現	約33%	単元テスト・期末テスト・課題
③ 主体的に学習に取り組む態度	約33%	提出物・課題

# 英語【1年 2 学期】

進度 予定	単元	到達目標
8月 ～ 9月	Program5 -Pajama Day-	・3人称・単数・現在の意味や働きを理解することができる。 ・自分と相手以外の人などについて伝え合うことができる。
	音読テスト・単元テスト	
	Power-Up2 -持ち物をたずねよう-	・which や whose の意味や働きを理解することができる。 ・登場人物の持ち物についてたずねたり答えたりすることができる。
	スピーキングテスト	
10月	Program6 -The Way to School-	・him や her、why の疑問文、Because～.の意味や働きを理解することができる。 ・人やものについて伝えたり、理由をたずねたりすることができる。
	Step3 -話の組み立て方を考えよう-	・相手にわかりやすい話の組み立て方について理解することができる。 ・理論だてスピーチ原稿を書くことができる。
	単元テスト・パフォーマンステスト	
11月	Program7 -Research on Australia-	・There is(are)～.や how の疑問文の意味や働きを理解することができる。 ・地域にあるものや交通手段について伝え合うことができる。
	疑問詞のまとめ	・さまざまな疑問詞の使い方を理解することができる。 ・質問したり答えたりすることができる。
	Power-Up3 -学校案内をしよう-	・道案内で使う表現を理解することができる。 ・行きたい場所や行き方を伝え合うことができる。
	Step4 -聞き上手になろう-	・発表を聞くとときに気をつけるポイントを理解することができる。 ・発表者が気持ちよく話せる聞き方が身につくことができる。
	音読テスト、単元テスト	
12月	Our Project2 -この人を知っていますか-	・自分が紹介したい人物について相手に分かってもらえるように、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて伝えたり、書いたりすることができる。
	パフォーマンステスト	
	Program8 -Happy New Year!-	・現在進行形の意味や働きを理解することができる。 ・今していることについて伝え合うことができる。
	Power-Up4 -ショッピングをしよう-	・服屋などの店で買い物をするときを使う表現を理解することができる。 ・おすすめの商品の提案を聞き取ったり、色違いの商品を求めることができる。
音読テスト・単元テスト		

## 観点別学習状況の評価対象と内容

知識・技能(約30%)・・・定期テスト、単元テストなど

思考・判断・表現(約35%)・・・定期テスト、単元テスト、パフォーマンステスト、英作文、音読テストなど

主体的に学習に取り組む態度(約35%)・・・授業の取り組み、振り返り(定期テスト、単元、パフォーマンステスト)など

## 音楽【1年2学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	曲想を生かして合唱しよう。(8月～)	・混声合唱の響きに関心を持ち、楽曲にふさわしい表現を工夫することができる。
	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。(10月)	・旋律の動きや強弱の変化がどのように曲想と関わっているかを感じ取り、表現を工夫して歌うことができる。
器楽	LESSON1〔左手による運指〕(8月)	・左手の運指に気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
	LESSON2〔両手による運指〕(10月)	・両手の運指に気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
鑑賞	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。(9月)	・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・登場人物の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴くことができる。
	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう(11月～)	・声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら日本の民謡のよさや美しさを味わって聴くことができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	小テスト・実技テスト
思考・判断・表現(35%)	実技テスト・ワークシート
主体的に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み



# 体育【1年 2 学期】

保 健 体 育	単元	到達目標	
	・水泳(8・9月)	・記録の向上や競技の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに泳法(クロール、平泳ぎ)を身に付けること。	
	・武道(剣道)(10月)	・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。	
	・バレーボール(11月)	・ラリーを続けることを重視し、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	
	・持久走(12月)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、ペースを守って走るなどといった基本的な動きや効率の良い動きを身に着けること。	
	・保健 (健康な生活と病気の予防: 3食生活と健康～ 心身の機能の発達と心の健康: 3生命を生み出す体への成熟～ ○単元テスト(11～12月)	・健康の成り立ちと病気の起こる要因、食事、休養・睡眠、調和のとれた生活について理解できるようにする。 ・心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。	
	通知票の観点別学習状況の評価対象と内容	・知識・技能・・・技能テスト・小テスト	50%
		・思考・判断・表現・・・技能テスト・振り返り・授業の様子 レポート	25%
		・主体的に学習に取り組む態度・・・授業態度、忘れ物、見学 出欠状況・ワーク提出	25%
			合計100%

# 美術【1年2学期】

月	分野	単元	到達目標
8～9 月	工芸	暮らしの中の木の工芸 (寄せ木)	木の質感や特性、形や色あいに着目し、ぬくもりなどをとらえ、加工方法を工夫して見通しを持って表すことができる。
			木の特性や美しさ、使う場面や使う人の気持ちをもとに、使いやすさなどの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
			木の良さや使いやすさなどを生かして作ることに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
10 月	鑑賞	鑑賞との出会い (現代アート)	美術を身近に感じ、その必要性などの美術の持つ力を感じることができる
			他者と自己との意見を比較しながら、自分らしい造形的なものの見方・感じ方を深めることができる
11～12 月	絵画	なぜか気になる情景 (アートグラス)	形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、道具の使い方を工夫したりすることができる。
			身近な場所のイメージをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
			気になる場所を見つけ、その特徴をとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。
観点別学習状況の評価対象と内容(合計:300 点)			
知識・技能 (30%、90 点)			作品等
思考力・判断力・表現力 (40%、120 点)			計画表、インタビューシート、鑑賞シート、自己評価表等
主体的に取り組む態度 (30%、90 点)			授業態度(意欲・提出物等)、F シート等

## 技術家庭【1年 2 学期】

技術分野			
月	分野	単元	到達目標
9 10	(技術) 材料と加工の技術	材料に適した加工方法	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。
9		丈夫な製品を作るために	・構造と部材を丈夫にする方法について理解し、まとめることができる。
9 10 11		設計・製作	製作に必要な図を理解し表せる。 工具や機器を安全に使用することができる。 部品加工、組み立て及び仕上げ作業が正確にできる。
家庭分野			
月	分野	単元	到達目標
9	(家庭) 私たちの衣生活	衣服の選択と手入れ	衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 衣服の補修ができる。
10		生活を豊かにするために	持続可能な衣生活を目指して、自分ができることを考える。
		題材のまとめテスト:1回　小テスト(取り扱い表示):1回　実技テスト:まつり縫い	
11 12	(家庭) 私たちの住生活	住まいの役割と安全な住まい方	日本の住まいの特徴を知る。 防災を意識した工夫を考え、家庭で実践することができる。 持続可能な住生活を目指して、自分ができることを考える。 自分の理想の住まいを考え、周りに伝えることができる。
		題材のまとめテスト:1回	
点別学習状況の評価対象と内容			
以下の①②③を均等の割合で評価します			
①知識・技能			提出物・テスト・実習製作品
②思考・判断・表現			テスト・提出物・実習製作品
④ 主体的に学習に取り組む態度			授業態度(意欲・提出物など)